

(2)連続立体交差事業・土地区画整理事業

●連続立体交差事業 【長崎市中心部のランドデザイン】

鉄道を高架化することにより、交通渋滞の原因となっている踏切を除却するとともに市街地の分断を解消する事業である。

●JR長崎本線連続立体交差事業

事業推進中

●目的

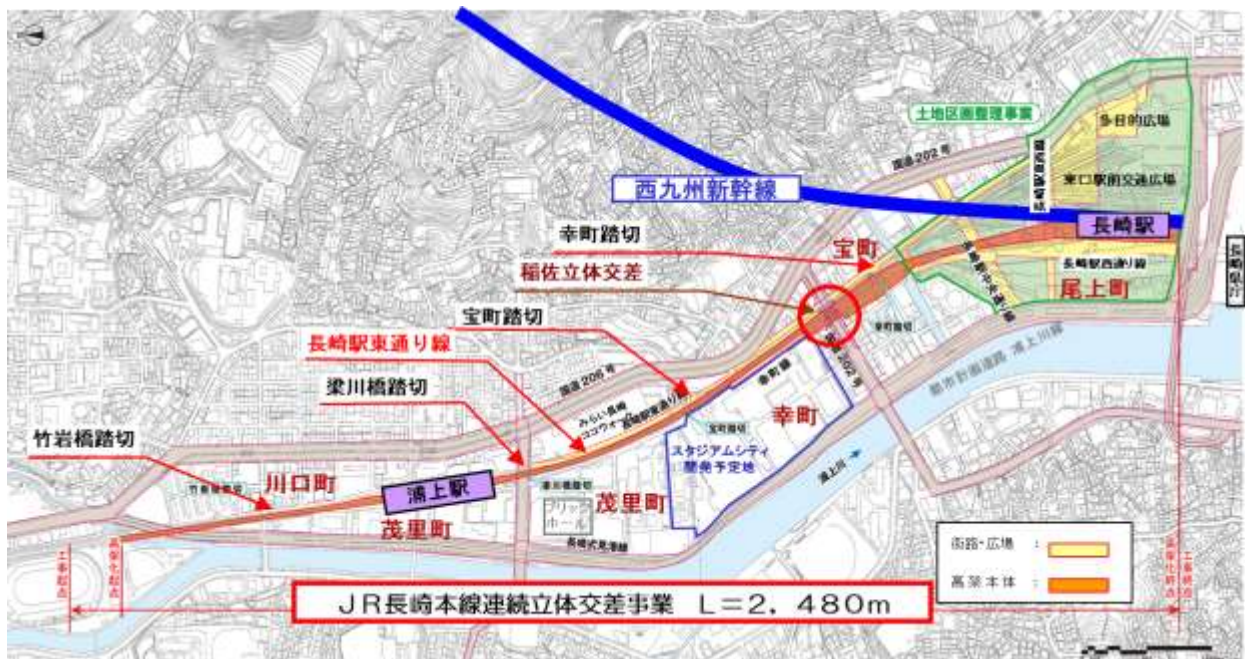
長崎本線は市街地中央の平坦部を南北に縦断しており、市街地が東西に分断され、円滑な都市活動の妨げとなっている。

また、鉄道を挟んだ東西の総交通量は1日あたり約36,000台（H23観測）におよび、踏切と国道が近接していることから、踏切遮断時には著しい交通渋滞を引き起こしていた。

このことから、鉄道の高架化を行い4か所の踏切を除却し、鉄道に並行する側道および稲佐立体交差部の整備を行い、道路交通の円滑化を図るとともに東西の市街地が一体的に利用できるように整備するものである。

●事業概要

| | |
|---------|----------------------------------|
| 事業区間 | 長崎市松山町～尾上町 L=2,480m |
| 事業期間 | 平成21年度～令和6年度（令和2年3月28日高架切替・新駅開業） |
| 総事業費 | 約549億円（鉄道事業者の負担金を含む） |
| 高架化駅 | 浦上駅、長崎駅 |
| 除却踏切 | 竹岩橋踏切、梁川橋踏切、宝町踏切、幸町踏切 |
| 施工方法 | 仮線方式 |
| 令和5年度施工 | 稲佐立体交差部整備工事、側道整備工事（長崎駅東通り線、幸町線） |



浦上駅前広場の供用状況



長崎駅東通り線の現況



●土地区画整理事業 【防災・減災対策のための国土強靱化の推進】

道路、公園等の公共施設の整備の改善を行うとともに、住宅地の利用増進を図るため、土地区画整理事業を進める。

●高田南土地区画整理事業 長与町

●目的

本地区は、長崎市の北部に隣接し、JR長崎本線の道ノ尾駅を中心に、住宅地、畑地および林地からなり、幹線道路その他公共施設の整備が遅れた地区である。

本事業は、道路、公園等の公共施設を整備・改善を行うとともに、住宅地の利用増進を図ることを目的に、昭和60年より着手し現在施工中である。

●事業概要

| | |
|---------|--------------------------------|
| 事業主体 | 長与町（施行者長崎県：昭和61年8月1日から受託） |
| 区域 | 西彼杵郡長与町高田郷 |
| 着工年度 | 昭和60年度 |
| 完成予定年度 | 令和12年度 |
| | （全体計画） |
| 施行区域面積 | A = 49.8ha |
| 都市計画道路 | L = 4,057m、8路線 |
| 区画道路 | L = 14,220m |
| 公園 | A = 15,276㎡ 5箇所 |
| 令和5年度施工 | 高田南宅地整備事業（設計施工一括方式） 測量設計補償等 |

令和4年3月
一部完成
(令和5年7月撮影)



令和5年1月 撮影